

## 安全上のご注意

警告	注意
<p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。</p>	<p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。</p>
<p>本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。</p>	<p>本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。 強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。</p>
<p>本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。 火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保障対象外となります。</p>	<p>必要なデータはバックアップするようにしてください。 本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。</p>
<p>本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。</p>	<p>本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。 機器の故障やデータ損傷の原因となります。</p>
<p>本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置 / 保管してください。 触ってケガをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。</p>	<p>本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。 ・不安定な場所 ・振動のある場所 ・高温 / 多湿な場所 ・衝撃のある場所 ・傾斜面 ・たばこの煙 ・腐食性ガス雰囲気中</p>
<p>火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントを使用しないでください。</p>	<p>・ホコリの多い場所 ・直射日光の当たる場所 ・水気の多い場所 (台所、浴室など) ・強い磁気の発生する場所 ・暖房器具の近く ・飲食物の近く ・静電気の影響を受けやすい場所</p>
<p>本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。</p>	<p>本製品の稼働中に電源ケーブルや、接続ケーブルなどを抜かないでください。 機器の故障やデータ損傷の原因となります。</p>
<p>電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。 差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。</p>	<p>本製品のコネクター部分には触れないでください。 故障の原因となります。</p>
<p>ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。 ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。 傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。</p>	<p>本製品や付属物の上に物を置かないでください。 傷がついたり、故障の原因となります。</p>
<p>ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電の原因となります。</p>	<p>本製品を移動する時は、電源を切ってから A C アダプターもしくは電源ケーブルを取り外してください。 機器の故障やデータ損傷の原因となります。</p>
<p>電源ケーブル (AC アダプター) を壁やラック (棚) などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。</p>	<p>本体が熱い時はさわらないでください。 本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。</p>
<p>電源ケーブル (AC アダプター) を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。</p>	<p>本製品が結露した状態で使用しないでください。 本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間をおいて結露がなくなってからご使用ください。</p>
<p>水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。 ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されません。特殊なソフトウェアなどを使用して、データを復元、再利用される可能性があります。情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にご確認ください。</p>
<p>静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。 人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。</p>	
<p>本製品やパソコン本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。</p>	
<p>風通しの悪いところに設置する。布を掛ける。じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。 通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>	
<p>本製品の周辺に放熱を妨げるような物や熱器具を置いたり、加熱しないでください。</p>	
<p>本製品やコンピューター本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。</p>	

## 故障かな？と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

また、弊社 Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバーソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

### ヤノ販売株式会社 カスタマーサポート

住所：〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F  
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983  
電話による受付時間：月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）  
午前 9：30 ～ 12：00 / 午後 1：00 ～ 5：00

Web : [www.yano-sl.co.jp](http://www.yano-sl.co.jp)  
E-mail : [info@yano-sl.co.jp](mailto:info@yano-sl.co.jp)

### ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303 (営業) Fax. 078-646-8982  
E-mail: [info@yano-sl.co.jp](mailto:info@yano-sl.co.jp) Web: [www.yano-sl.co.jp](http://www.yano-sl.co.jp)



# A08S-PS

## はじめにお読みください

このたびは、弊社製大容量高速 PCI Express RAID 装置 **A08S-PS** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

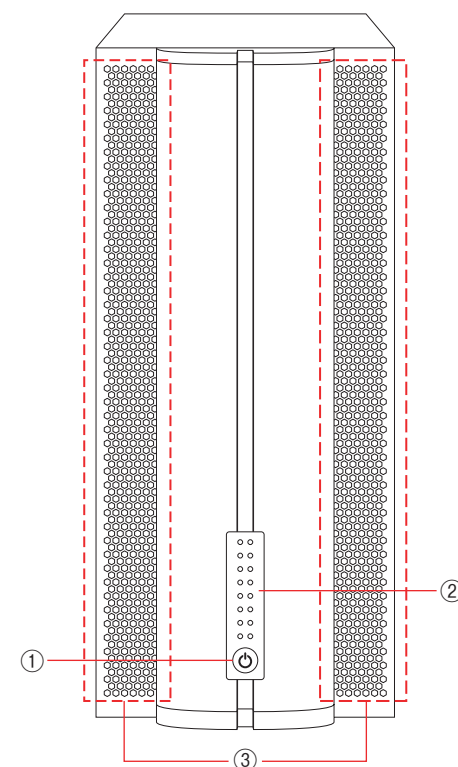
本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

## 構成品 パッケージ内容

<input type="checkbox"/> A08S-PS 本体.....	1 台	<input type="checkbox"/> ユーティリティ CD (A08S-PS).....	1 枚
<input type="checkbox"/> ドライブホルダー (スペアドライブ含む)....	9 台	<input type="checkbox"/> A08S-PS・はじめにお読みください.....	1 部
<input type="checkbox"/> 電源ケーブル.....	2 本	<input type="checkbox"/> スペックシート.....	1 部
<input type="checkbox"/> PCI Express 専用接続ケーブル.....	1 本	<input type="checkbox"/> 保証書.....	1 部
<input type="checkbox"/> PCI Express インターフェースボード.....	1 枚	<input type="checkbox"/> ユーザー登録カード.....	1 部
<input type="checkbox"/> ロックキー.....	2 本	<input type="checkbox"/> 365 日サポートシール.....	1 部

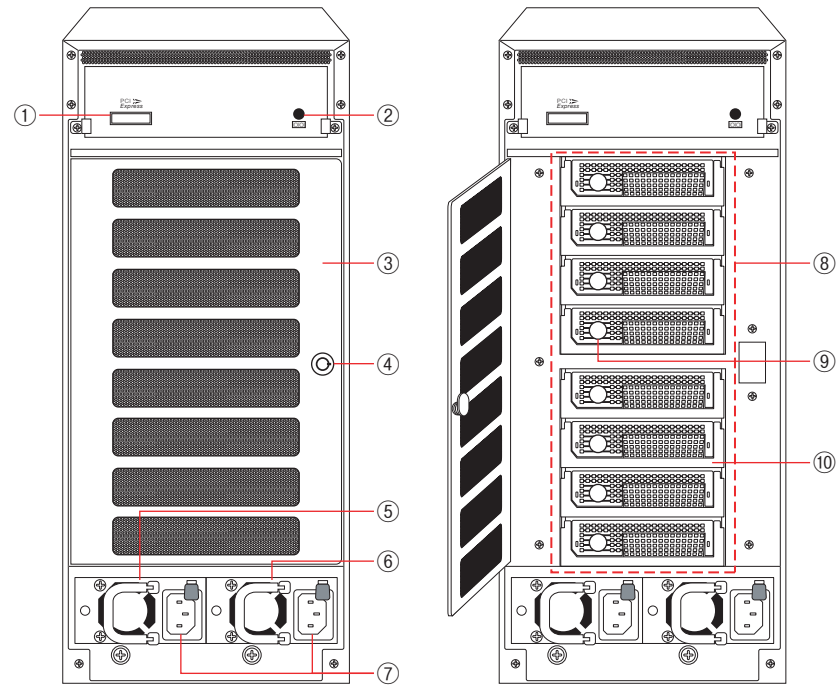
## 各部の名称とはたらき

### ● 前面



①	電源ボタン	本製品の電源を ON / OFF します。
②	ハードディスク前面ランプ	上から順に 1-8 番のドライブホルダーのハードディスクの動作状況を示します。 左側のランプ ・ 緑色：ハードディスクに通電中 ・ 橙色：ハードディスクの再構築中 ・ 赤色：ハードディスクの故障 右側のランプ ・ 青色：ハードディスクにアクセス中
③	通気口	通気口がありますので、この部分をふさがないように注意してください。

● 背面



①	PCI Express ポート	本製品に付属の PCI Express 専用接続ケーブルを接続します。
②	シリアルポート	弊社が使用するメンテナンス用のポートです。
③	背面ドア	通気口がありますので、この部分をふさがないように注意してください。 ドライブホルダーの脱着の際には、カギを開けて開閉します。
④	カギ穴	本製品に付属のロックキーを差し込んで背面ドアを開閉します。
⑤	電源ユニット (L)	電力を供給します。通電中は緑色に点灯します。
⑥	電源ユニット (R)	
⑦	電源コネクタ	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
⑧	ドライブホルダー 1-8	背面ドア開閉部にドライブホルダーが装着されています。内部にハードディスクが取り付けられています。前面には通気口（細かい穴）がありますので、ふさがないようにしてください。
⑨	ドライブ前面ボタン	ドライブホルダーの脱着の際に使用します。詳しくは、付属の「ユーティリティ CD (A08S-PS)」内にある Manual.pdf の P72 「パーツの交換と復旧作業」を参照してください。
⑩	取手	

ドライブホルダーを装着する

本製品では、精密機械であるハードディスク・ドライブが損傷する可能性を低減するために、輸送時の衝撃等を考慮して別梱包にしております。ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で**、ハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取付けてください。

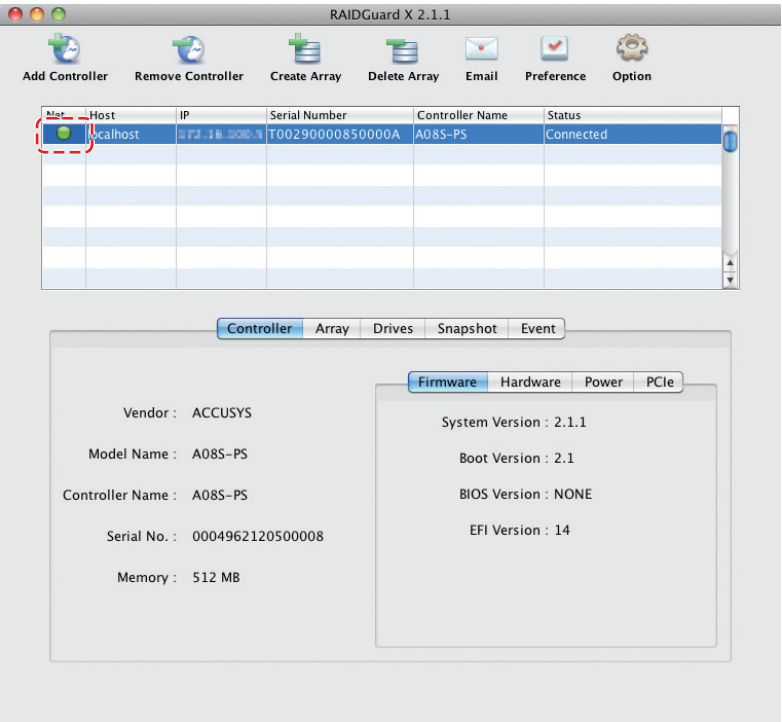
A08S-PS 本体とドライブホルダーを梱包箱より取り出し、まず外観に破損などがないか確認してください。また、破損が確認された場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

ドライブホルダーの取り付けについては、付属の「ユーティリティ CD (A08S-PS)」内にある Manual.pdf の P18 「本製品を設置する」をご覧ください。

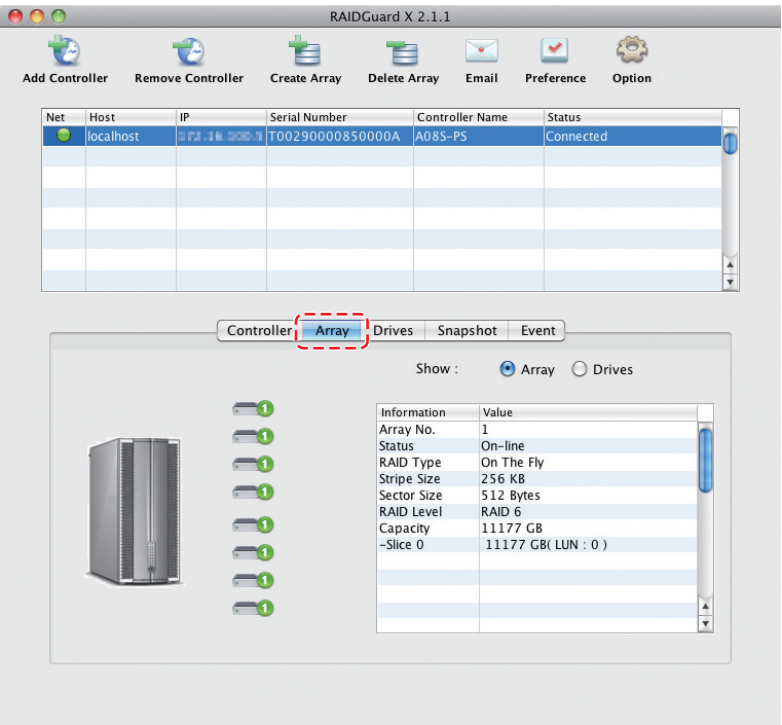
● ドライブホルダーを本体に装着する際の注意

- ・ 本製品は「ホコリがハードディスクのコネクタ部へ付着し、電氣的に不安定な状態になることを防ぐ」「空気の流れをスムーズにして、より効果的にハードディスクドライブを冷却する」等のため、ドライブホルダーの交換を背面側から行う構造にしています。  
本製品の設置においては、稼働中にドライブホルダーを交換する場合を想定し、背面側に十分なスペースを確保できる場所に設置してください。
- ・ 電源を投入した状態で本体を移動させると、稼働中のハードディスクドライブに障害を引き起こす可能性があります。稼働前に、ドライブホルダーの交換が可能か確認した上で、設置場所を決定してください。
- ・ 取扱いの際は、衝撃を避けて移動や取り付けをしてください。
- ・ ドライブホルダーを重ねたり、ハードディスク本体の上面を押さえたりしないでください。

4. Controller が正常に追加されると、Controller 一覧に表示され、[Net] に緑色のランプがつきます。



5. [Array] をクリックします。  
Array の状態が正常に表示されていることを確認します。



以上で Controller の設定は完了です。  
Macintosh の場合、デスクトップ画面にアイコンが表示されます。

データ保証について

本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、弊社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。

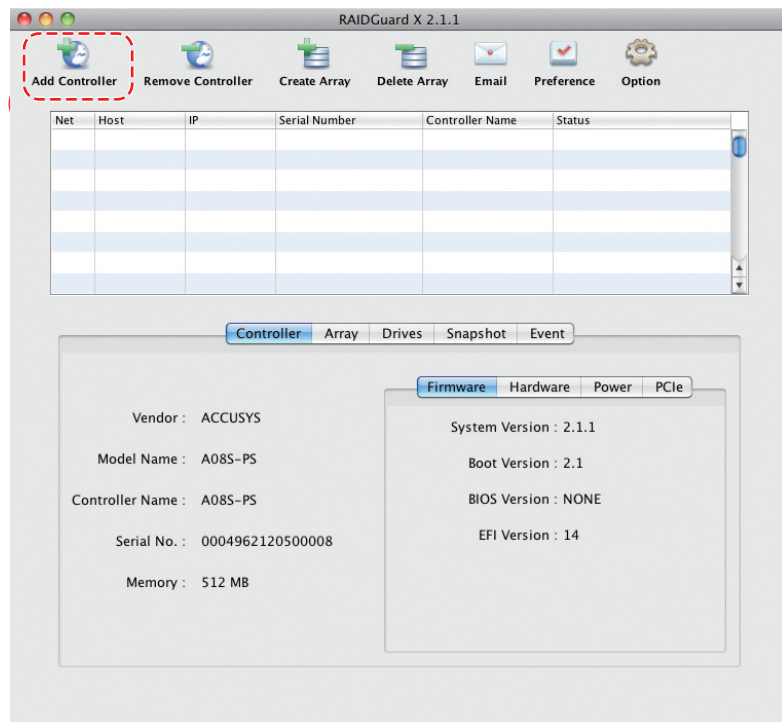


## 1. 「RAIDGuard X」を起動します。（Windows の場合は「RAIDGuard X Client」を起動します。）

※ Windows でご使用の場合は先に「RAIDGuard X Server」を起動する必要があります。

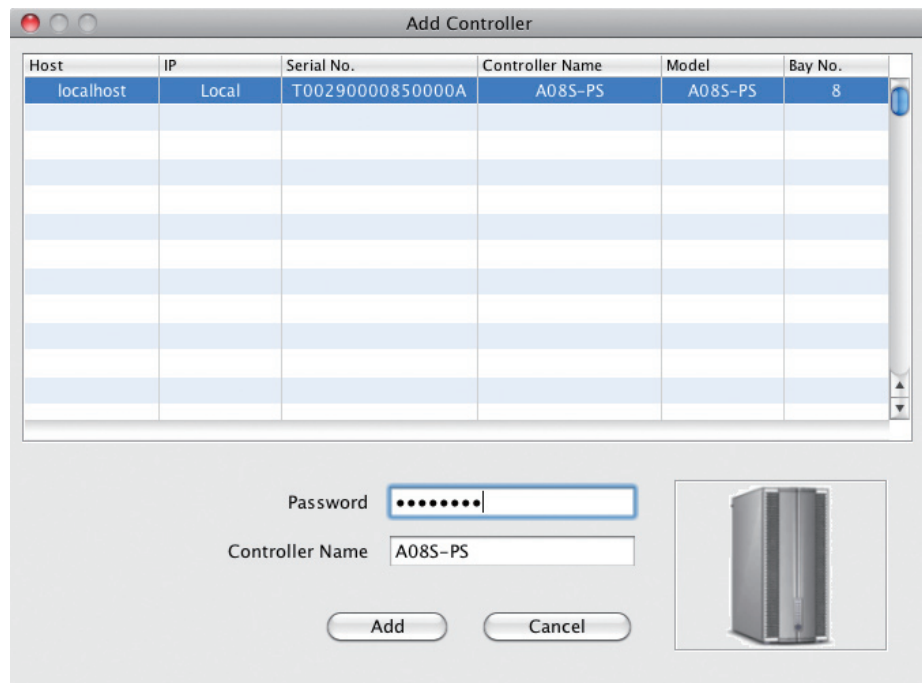
## 2. 「Add Controller」 ボタンをクリックします。

ネットワークに接続されている利用可能な Controller のリストが表示されます。



## 3. 管理する Controller を選択し、パスワードを入力します。入力できたら【Add】をクリックします。

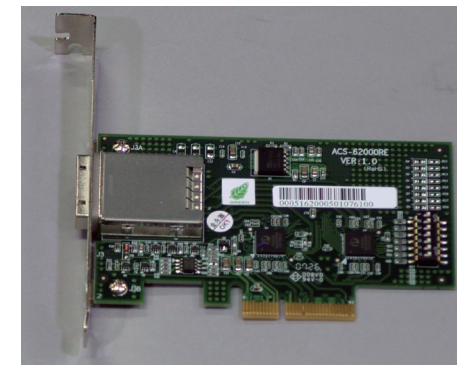
パスワードの初期設定は「00000000」（数字の 0 が 8 個）です。



## 操作手順

### 1. 本製品を接続するコンピュータに PCI Express インターフェースボードを取り付けます。

取り付け方法についてはお使いのコンピュータのマニュアルをご覧ください。



### 2. 本製品に必要なドライバーと、RAID ソフト「RAIDGuard X」をインストールします。本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピュータ本体の CD-ROM ドライブにセットします。

## Macintosh の場合

「Driver」→「Mac」の中の「Accusys\_IP\_MAC\_X.X.X.mpkg」をクリックします。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。



「Accusys RAIDGuard X のインストール」の画面が表示されます。  
【続ける】をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【続ける】をクリックします。確認の画面が表示されますので、【同意します】をクリックします。

インストール先のボリュームを選択し、【続ける】をクリックします。

インストールを実行します。【インストール】をクリックします。  
カスタムインストールを行うときは、【カスタマイズ】をクリックし、インストールしたい項目を選択します。

インストールが終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。  
【再起動】をクリックし、ソフトウェアのインストールを完了します。



※インストールに失敗した場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

## Windows の場合

Java ソフトウェアをインストールします。  
<http://www.java.com/ja/> から最新の java ソフトウェア  
をダウンロードしてインストールします。

※ [RAIDGuard X] は、Java Version.1.6 以上が動作する環境が必要です。

本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコン  
ピューター本体の CD-ROM ドライブにセットします。

「Driver」→「Windows」→の中から、お使いのコンピ  
ューターの OS に合わせて選択します。

32 ビットの場合「x32」、64 ビットの場合「x64」を選  
択します。

「6xxxx\_IP\_Win\_X32\_X.X.X.exe」もしくは  
「6xxxx\_IP\_Win\_X64\_X.X.X.exe」をクリックし、インス  
トローラーを開始します。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。

インストーラーの画面が表示されます。【Next >】をクリッ  
クします。

使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、  
【I accept the terms in the license agreement】を選  
択し、【Next >】をクリックします。

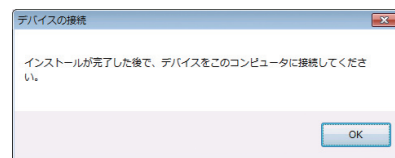
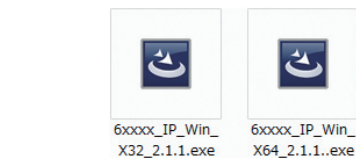
【Complete】が選択されていることを確認し、【Next >】  
をクリックします。

インストールの準備ができた画面が表示されますので、  
【Install】をクリックします。

※ Windows Vista などでお使いの場合、『ユーザーアカウント制御』が表示され  
る場合があります。「許可」を選択し、インストールを続けてください。

デバイスの接続という画面が表示されます。  
【OK】をクリックします。

インストールが正常に完了した画面が表示されます。  
【Finish】をクリックします。



ここでは、Windows 7 を例に表示しています。  
それぞれの OS によって画面表示が異なります。

3. コンピューターを一旦終了します。

4. 本製品に電源ケーブルを接続します。(電源ケーブルは必ず二本とも接続してください)

5. PCI Express 専用接続ケーブルを本製品とコンピューターに接続します。

6. 本製品の電源を ON にし、コンピューターを起動します。

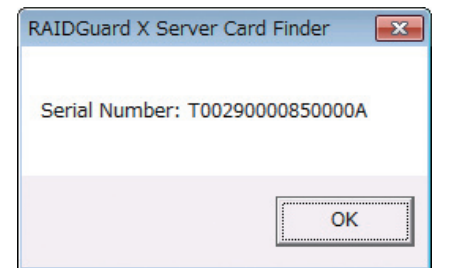
## 本製品を設定する

### Macintosh で本製品を設定する

「RAIDGuard X Server」は起動時から自動的に常駐プログラムとして稼働します。

### Windows で本製品を設定する

Windows でご使用の場合、ログオン後に「RAID  
Guard X Server」が利用可能な RAID カードを探  
します。RAID カードが正常に認識されると右図の  
ようなメッセージを表示します。【OK】をクリッ  
クします。



※ユーザーアカウント制御の設定によっては RAID カードが検出できず、「Find No Raid Card!!」というメッセー  
ジが表示されます。その場合は一度 RAIDGuard X Server を終了してから (次ページ参照)、RAIDGuard X  
Server を管理者として実行する必要があります。

・ 32 ビット OS の場合

C:¥Program Files¥Accusys¥RAIDGuard X¥Server

・ 64 ビット OS の場合

C:¥Program Files (x86)¥Accusys¥RAIDGuard X¥Server

上記のフォルダー内の WinGuiSrv.exe を右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。  
ユーザーアカウント制御による確認画面が表示されますので、【はい】をクリックしてください。

※ RAID カードが検出できない場合、「Find No Raid Card!!」というメッセージが表示されます。本製品とコ  
ンピューターを PCI Express 専用接続ケーブルで接続している場合は、コンピューターの電源を切ってから、  
本製品の電源を切って、最初から作業をやり直してください。

※ PCI Express インターフェイスボードが正常に取り付けられているかどうか、PCI Express インターフェー  
スボードのドライバーが正常にインストールされているかどうか確認してください。

※ネットワークを経由してリモートで接続している場合は、Windows のタスクトレイから「RAIDGuard X  
Server」を終了させて、「RAIDGuard X Client」を使用してください。

「RAIDGuard X Server」アイコンが Windows のタスクトレイに追加されます。

